

(5) 主催事業の効果的な運営

- ① 学校教職員、少年団体等社会教育指導者を対象にした集団宿泊指導者研修会を、実地踏査や実技研修会を中心とし、指導者の資質の向上に努めた。
- ② レクリエーション実技指導者研修会及び親子のつどいを、前回までの反省を生かし魅力ある事業の企画運営に努めた。とともに県内各地より定員を超える参加者があり、好評のうちに実施することができた。

(6) 安全管理の徹底

- ① 安全指導体制を確立し、定期及び隨時に施設・設備等の安全点検を行い事故を防止した。
- ② 毎月1回給食委託業者と打合せを行うとともに、厨房を点検し食中毒を防止した。
- ③ 消防体制を強化し、消防施設の点検及び防火訓練を計画的に行い災害を防止した。
- ④ 山火事防止パトロール隊を編成し、計画的にパトロールを行い山火事を防止した。

3 職 員 組 織

職名	所長	次長	主事	主任 指導主事	指導主事	社会教育 主事	運転手兼 用務員
人員	1	1	2	1	3	1	1

第2節 施設・設備の概況

1 位 置

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山54番地

2 敷 地 面 積

約 330,000m²

3 本館建物面積

延べ1,578 67m²

4 宿 泊 施 設

- ・本館 定員 166名（14部屋）・和室（8畳）
- ・ロッジ 定員 180名（9棟、テント6人用40張）

5 施 設・設備等

施 設	設 備 及 び 研 修 用 備 品
中 央 ホ ー ル なかよしホール	簡易プラネタリウム(可搬式)、燭台、聖火台、エレクトーン、ステレオ、テレビ、自動給湯機
食 堂 (328 6m ²)	収容人員 166名、冷蔵庫(2)、給湯機、厨房室
乾 燥 室 (66m ²)	温風暖房機、脱水機、ハンガー(200個)
体 育 館	卓球台(7台)、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、セフティーマット、綱引用綱、ピアノ、燭台、放送機
総 合 活 動 館 (522m ²)	サーキット設備(20種目)、エレクトーン、燭台、セフティーマット、放送機
野 営 場	ロッジ(9棟、各34m ²)、野外活動センター(66m ²)、炊飯用具 180名分、テント40張、放送機、舍監室)、炊飯場(2棟)、テントサイト、便所(2)、洗面所、薪置場、食卓(180名分)
プ ー ル	25m × 15m (7コース)、更衣室、シャワー、便所、消毒槽、ビート板、循環ろ過装置
野 外 施 設	営火炉(3)、つどいの広場(2)、つどいの丘、運動場(11,000m ²)、そり場、サーキットコース、フィールドワークコース(冒険いかだ)、オリエンテーリングコース、ウォークラリーコース、自然観察コース、コンパスラリーコース、ナイトハイキングコース、登山コース、自然遊歩道、冒険の丘、池、東屋、トーテムの丘

6 その他の備品

- ・天体望遠鏡(9台)。レコードプレイヤー。ワイヤレスマイク。テープレコーダー(2台)。アコードオン(2台)
- ・トランシーバー(2台)。ハンドスピーカー(2台)。ギター(2台)。図書板(150枚)。ソフトボール一式。そり(200台)。オリエンテリンク用具一式。伝承遊具。もちつき用具一式

第3節 利 用 状 況

少年自然の家の利用は、次のように大別される。

- ① 学校教育の一環として利用する場合
- ② 少年団体等社会教育関係団体が利用する場合
- ③ 青少年指導者養成のため県市町村教育委員会等が利用する場合
- ④ 当所が主催する事業に参加する場合

本年度の利用団体は283団体、利用延人数は48,893人であった。その利用状況は次の通りである。